

NVC Monthly



寝屋川映像同好会会報
第106号(201805)
発行 竹田 幸男



第8回ビデオ作品発表会
小笠原邦雄さん
「角倉了以の水運開削の軌跡」
より



例会の窓

映像同好会4月例会
日時：2018年4月11日(水) 13:30~
場所：市民活動センター4Fこども部屋
出席者：新井 小笠原 佐伯 妹尾 竹田 谷
中村地区委員
欠席者：1名(50音順・敬称略)

例会次第

1. 報告・連絡・協議事項

(1) 会報随想 新井さん

(2) 春の撮影会の状況報告(新井さん)

- ・「映像北大阪」と合同で住吉大社で実施した。
- ・秋には、映像協会として行う。

- (3) 第11回寝屋川映像フェスティバルは5月13日(日)実施。
・プログラムが出来たので郵送の準備をする。
・松愛会でのPRをお願いする。プログラム1000枚渡す。

- (4) 文化連盟理事会の報告(新井理事)
・文化連盟展の準備
・出品作 今年は映写1回 テーマをもった作品を集めてする。

2. 映写

- (1) 妹尾さん 「八重山諸島の自然」 10分
- (2) 小笠原さん 「2018 オオムラサキ越冬幼虫カウント調査」
・主催者に渡す長時間の映像を早送り映写した。
・今年で31回目、オオムラサキ:38匹 ゴマダラチョウ:12匹発見。
・幼虫:突起4つあるのがオオムラサキ 3つあるのがゴマダラチョウ
- (3) 谷さん 「出町柳から京都府立植物園」 5分
・今回は満開の桜を撮影。もう少し整理すると良くなる。ラストシーンは終わりの少し前の画面を使えば良かった。
- (4) 竹田さん 「夢 大空翔る」 9分56秒
・前は試作品を持ってきたので、今回は完成品。

3. 各会員の最近の活動状況・情報交換・当面する問題点等(略)



野性のエルザ

新井正直

今回は、ヒューマンドラマを中止し、題名に記憶があった、野性のエルザを録画し、観た感想を記した。

この映画は、ジョイ・アダムソンが、1956年に実在のライオンを記録したノンフィクション作品でベストセラーとなり、映画化され、1966年に公開した。

映画のファースト・シーンは、現地の主婦達が川で洗濯していたが一人になったとき、雄ライオンに襲われた。

その人食いライオンの雄を射殺し、雌が襲いかかって来たので射殺したケニアの狩猟監視官・ジョージ・アダムソンは、その子供で赤ん坊の三匹を家に連れて帰宅した。

ジョージの妻・ジョイは、ライオンの人工飼育に愛を持って取り組んだが、始めは哺乳瓶の乳首からのミルクを飲まなかったが、ジョイが手の指先にミルクを付けて口の中に入れると母親の乳房と思いなめ始め、哺乳瓶の乳首から飲むようになり、

アダムソン家で個性の違う三匹が、すくすくと育ち、三か月目には、生肉も食べるほどに成長し、アダムソン家では、三匹のライオンの乱暴ぶりで、大騒ぎをしていた。

野性の暮らしを知らないライオン達の二頭は、動物園の檻の中で暮らせるように、ジョイは泣く泣く渡したが、一番小さいエルザは、どうしても可愛そうで渡すことが出来なかった。

エルザは、夫妻の愛玩動物の猫と同じような生活をしていた。

成長したエルザは、象の群れと戯れ、近くの現地人の村を踏み荒らす被害を出し、夫婦は、放し飼いを禁じられた。

ジョージには、狩猟監視官に定められた長期休暇で英国に帰える日が近づいた。ジョージは、ジョイに動物園ならエルザも安全に暮らせるのでは、と言うとジョイは、エルザを野性に返すと言った。

長期休暇の三か月前に、夫妻はサバンナでキャンプを張り、エルザに狩りを教えるための訓練を始めた。

しかし、試みはなかなかうまく行かず、獲物と遊ぶことで終わってしまい、狩りをしないので、衰弱したエルザに、ジョージは別の場所で狩りをして、獲物を与えて、毎日置き去りにしていたが、ある日の晩テントの外で物音がしたので、出て見ると豹に襲われかけたエルザが居て、それ以後あまり外に出なくなった。

与えられた日数もあと2週間で雨期に入る。エルザを1週間置き去りにし、テントも移す作戦にでたが、エルザは衰弱して現われ死ぬかと思ったが回復し、別の場所と期間の延長が許可されて、エルザも野性に目覚め、自分から外へ出かけ何日も戻らず、空腹になると帰ってきていたが、ある日イボイノシシと出会いエルザは捕獲し、狩りをした。

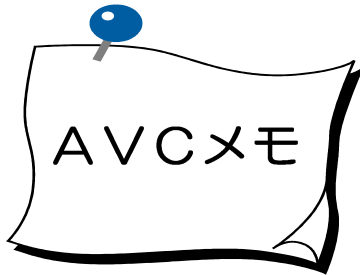
日々狩りに行くようになったので、発情期を待って、野性のライオンがいる自然保護区へ、エルザを車に乗せて行き、つがいで居るライオンのいる処で車を止めると、エルザは車から降り、つがいのライオンがいる方へ進んで行くと、つがいの雌ライオンがエルザに向かって来て喧嘩となり、互角に戦って群れに迎え入れられた。

その後、長期休暇に入った夫妻は、日程を短縮して、エルザと別れた自然保護区に来てみた。

エルザの姿を確認できないので、あきらめてキャンプのテントなどをかたづけようとする時、三頭の子ライオンを連れたエルザが姿を見せた。

以前と変わらず夫妻に甘えるエルザは、野性のライオンになっても人間の愛を忘れないドラマであった。その後何回もエルザと会う事ができたと思いました。

ストーリーは、以上ですが、飼いならされたライオンとはいえ、よくここまでの演技をさせたスタッフにエールを送りたいと、私は思いました。



8mmフィルムスキャナ

竹田 幸男

嘗ての8ミリフィルムは、今、映写することが難しくなっています。それは、身近に8ミリ映写機が無いためです。また、あっても、ベルトが切れていたり、映写電球が切れていたり、要するに完全に動作する映写機が非常に希少なためです。DVDなどへの変換サービスはありますが、高価であったり、または変換レベルが悪くて映像がはっきりしない、などの難点があります。

手元に「3R Anity 8mmフィルムスキャナ」という器具があります。中央に2.4型の液晶画面があり、その左右に5型のリールがかかるようになっていて、ちょうど嘗てのフィルム編集機のような形です。フィルム切り替えスイッチをフィルムに合わせて切り替えます。フィルムは3種類に対応、とありますがスーパー8とシングル8はフィルムの幅やパーフォレーションの位置は同じなので実際は2種類の切り替えになります。左側にフィルムを巻いたリールを掛け、液晶画面の下のフィルムカバーの下にフィルムを通し、右側の空リールにフィルム的一端を挿入します。電源を入れ、スタートボタンを押すと、カチ、カチと音がしてフィルムを送りながらデータを取り込んでいきます。フィルムのパーフォレーション（フィルム送りの孔）の部分の下から爪が上がってきて間欠的に左から右に移動して、左に戻るときは下方に待避することを繰り返しながらフィルムを送っていきます。フィルの下側からLED光源で照らし、フィルムを右向けに間欠的に送りながらフィルムの上側に位置するCMOSセンサーで撮影して、ケース後方に挿入したSDカードに変換された映像を保存していきます。100枚の撮影時間をストップウォッチで測ったら50.06秒でした。すなわち1秒2枚の撮影速度です。スーパー8/シン

グル8の映写速度は1秒間に18コマでしたから、変換速度は9分の1です。だから変換にはかなりの時間がかかります。こうして変換したものはMP4形式で保存されますから、パソコンに入れてやると、パソコンの再生ソフトで再生する速度は1秒に30フレームになり、再生した映像は非常に動きが速く、そのままでは不自然な動きになります。ですから再生速度を変換できる映像編集ソフトを使って再生速度を遅くしてやる必要があります。たとえばスーパー8/シングル8フィルムの場合、Ediusを使って再生速度を18/30(=0.6倍)に変換してやれば良いことになります。ダブル8の場合は本来の映写速度は1秒間に16コマですから、再生速度を16/30(約0.53倍)にしてやる必要があります。変換された映像の色合いは余り良いとは思えないので映像編集ソフトの色調整機能で色補正してやります。

変換した結果ですが、8ミリフィルムの粒子に注目すると、嘗ての8ミリ映写機で投影したときに粒子の形状がくっきりとスクリーンに投影されていたのに比べると粒子の形状が丸まって見え、映写機ほどの鮮明さはないように思えます。映写機があれば、スクリーンに映写したものをビデオカメラで撮影する方がより鮮明な映像が得られるので、これは映写機が手に入らない環境での次善の策である、と考えた方が良いでしょう。 ■